### (1面のつづき)

と指摘しました。 \*平和宣言

り営々として構築された旧軍港は専ら戦巨億の国帑(こくど)と、60年の永きに亘 膨大なる軍工廠を擁し、軍都として発展 争目的のみに供用せられてきた。

の群は、 を殆ど破滅の状態において終末を告げ数 解体艦船のスクラップの山、半壊の建物 た惨状の中に失業の群衆と化し去った。 家なく、帰るべき故郷は既になく荒廃し 代に亘ってここに定着した市民は住むに 大都市となった。然るに今次大戦は日本 してきた佐世保市は、人口3万に達する これを眺める市民に戦争の惨禍

と無意義さを泌々(しみじみ)と訴える

外に宣言した。 日本は新憲法により非武装平和国家を中

と人類の永遠の幸福のために活用し、速 をもってせめて残された旧軍財産を平和 佐世保市は兹(これ)に180度の転回 やかに平和産業都市、 国際貿易港として

更生せんことを冀(こいねが)うのみで

港として育成することを、 市民はその総意をもって港を永久に平和 ここに宣言す

昭和25年1月13日議決

# ム建設

ます。 設が進んでいない状況にあり 置付けられている石木ダム建 反対が続いており、 佐世保市の最重要政策と位 過去50年、 地元住民の 今も、建

は、石木ダムの早期完成に向 島市長は、 連携を強化とされている。 けて、県市がこれまで以上に 小田:市長のマニフェストで 住民との話し合い



形成を図っていきたい。

スタンディング 市役所前での石木ダム建設反対

市長:話し合いについては、 連携を強化していくのか るのか。またどのように県と についてどのように考えてい

は、 した意見の交換のもとで合意 てより一層密度を高め、 ではなく、あらゆる面におい 後 を進めたいと考えている。 について、誠意をもって対話 くようにするための生活再建 住民の皆さまの不安を取り除 の連携の在り方について 特定の部分に限定するの

5 し合いたい」と言っています。 のことでしたが、住民は 小田:生活再建の話し合いと の必要性に疑問があるか 必要性の是非について話

よう、 て話し合いを行っていただく 市長には必要性の是非につい 知事にも進言していた

だくとともに、 しておきます。 接対話に応じるべきだと指 市長自らが

## IR (カジノ)誘致

### X 域整備計画 の 認 定申請取り下げ

を

域の治安の悪化や交通渋滞で が設立されました。 ふるさとを護(まも) 指摘されているギャンブル依 の認定申請を行いましたが、 テンボスに する江上町では「カジノから 生活環境が悪化することを懸 存症の問題に加えて、周辺地 査となっています。従来から 今回の認定は見送り、 長崎県は佐世保市のハウス ハウステンボスに隣接 IRの整備計 継続審 る会」 画

審査となっている理由につい 小田:国に提出 に不安が残るためとみられ て、「事業資金調達の確実性 IR の区域整備計画が継続 した長 崎

> の見解を伺います。 げるべきだと考ますが、 整備計画の認定申請を取り下 性に不安がある中では、 点に加えて、 これまで指摘されてきた問題 る」との報道がありました。 資金調達の確実 区域 市長

おり、 で、 提出していることから、 ミットメントレター等も国に ではございません。 は市長となっても変わるもの 市長:私はIR推進の立 はないと伺っております。 業者の資金調達については出 に賛成しており、この考え方 資及び融資の総額を確保して 区域整備計画の認定申請 その裏付けとなるコ I R 事

0 月 磯云に甲氏がり山された前線							
	共産党	自民党	市民クラブ	公明党	市政会	緑政会	若者議員を増やす会
インボイス実施延期を求める請願	$\circ$	×	×	×	×	×	×
安心して生活できる年金制度を求める請願	$\circ$	×	×	×	×	×	×